

提案名：「東北UTSUKUSHIの旅」をフックとした沿岸地域への交流拡大モデル構築事業

（主な対象地域）岩手県一関市、平泉町、陸前高田市、大船渡市、宮城県気仙沼市

事業の概要・定量的な成果目標

事業の概要：世界遺産平泉を擁する内陸から沿岸までのインバウンドの動線を作るために、JR大船渡線の貸切列車をフックとした沿線の観光（2行以内）光プログラム（総称：東北の美（UTSUKUSHI）の旅）を通じて、インバウンド拡大と持続可能な事業体制を構築する。

定量的な成果目標：①販売する旅行商品数：10プログラム、②送客人数：970人、③延べ宿泊日数：1,395人泊（2行以内）④本事業にかかわる事業者数：10社

課題

岩手県内陸の東北新幹線や東北自動車道を中心としたアクセスの良い周辺エリアにインバウンドの需要が留まっており、沿岸地域への波及、特に「プログラム作り」と「交通網」が課題である。

事業目的

内陸と沿岸地域の事業者が「チーム化」し、コンテンツ造成とPRを実施する体制を構築することで、課題解決と同時に事業者中心の持続的な交流人口拡大モデル創出を目指す。

事業の内容

①DMO&地域連携の強化 ＝「チーム化」

岩手日報広告社



②地域の事業者と連携したコンテンツ磨き上げ および旅行プログラム造成

コンセプト：「東北UTSUKUSHIの旅」



◎ JR大船渡線を活用し既存のプログラムを活用した周遊モデルを提案

- ・ 猊鼻溪：紅葉×茶席舟や雪×こたつ舟
- ・ 大船渡線：音楽演奏、南部鉄器での地酒晩酌等

③海外向けプロモーション・継続した販売



- ・ 海外プロモーションのターゲット国として、台湾、タイ、マレーシアを設定。
- ・ 旅行会社へのセールスコールを行い、商品化を目指す。

④チーム化の継続促進 東北内への水平展開

- ・ 地域の事業者が中心となりDMOや行政が関わりあう「チーム」を強化し、交流人口拡大を目指す
- ・ 連携可能な企業・団体との勉強会の実施し、さらなる新たな事業者を巻き込む。
- ・ 沿岸地域への総客ルートを構築することで、さらなる東北地内への波及効果を生む。